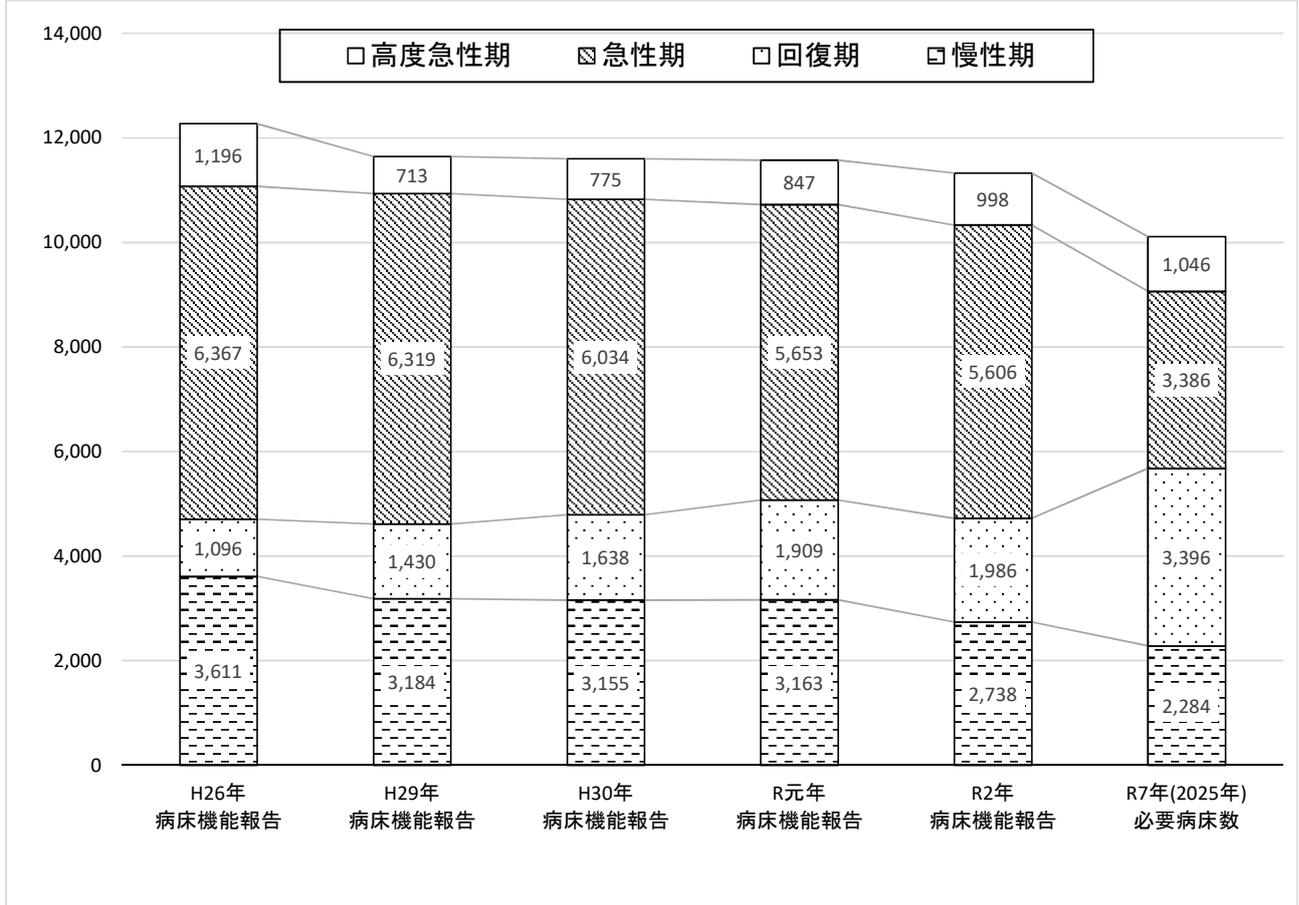


# 令和2年度病床機能報告結果について(報告)

## I 令和7年(2025年)の必要病床数と病床機能報告結果の比較

### 1 香川県全体



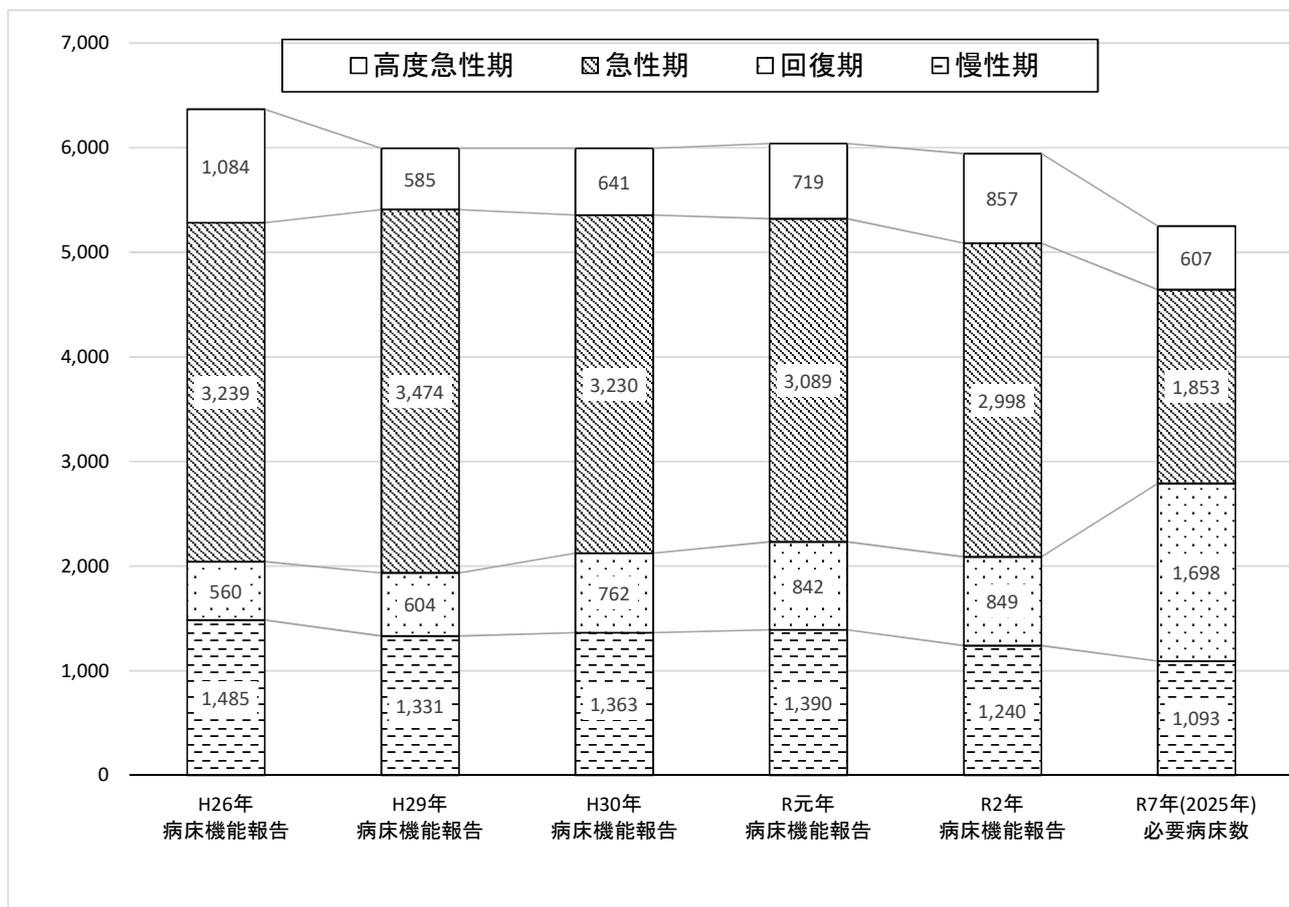
医療機能	H26年 病床機能報告	H29年 病床機能報告	H30年 病床機能報告	R元年 病床機能報告	R2年 病床機能報告	R7年(2025年) 必要病床数
高度急性期	1,196	713	775	847	998	1,046
急性期	6,367	6,319	6,034	5,653	5,606	3,386
回復期	1,096	1,430	1,638	1,909	1,986	3,396
慢性期	3,611	3,184	3,155	3,163	2,738	2,284
合計	12,270	11,646	11,602	11,572	11,328	10,112

※1 病床機能報告の数値は、提出期限までに報告があり、病床数、医療機能に関する報告に不備がなかった医療機関を対象に集計していることに留意が必要である。

※2 2025年の必要病床数は、高度急性期は医療機関所在地ベース、急性期、回復期、慢性期は患者住所地ベースで算出し、都道府県間の医療需要の流出入に応じた必要病床数の調整を行った数値である。

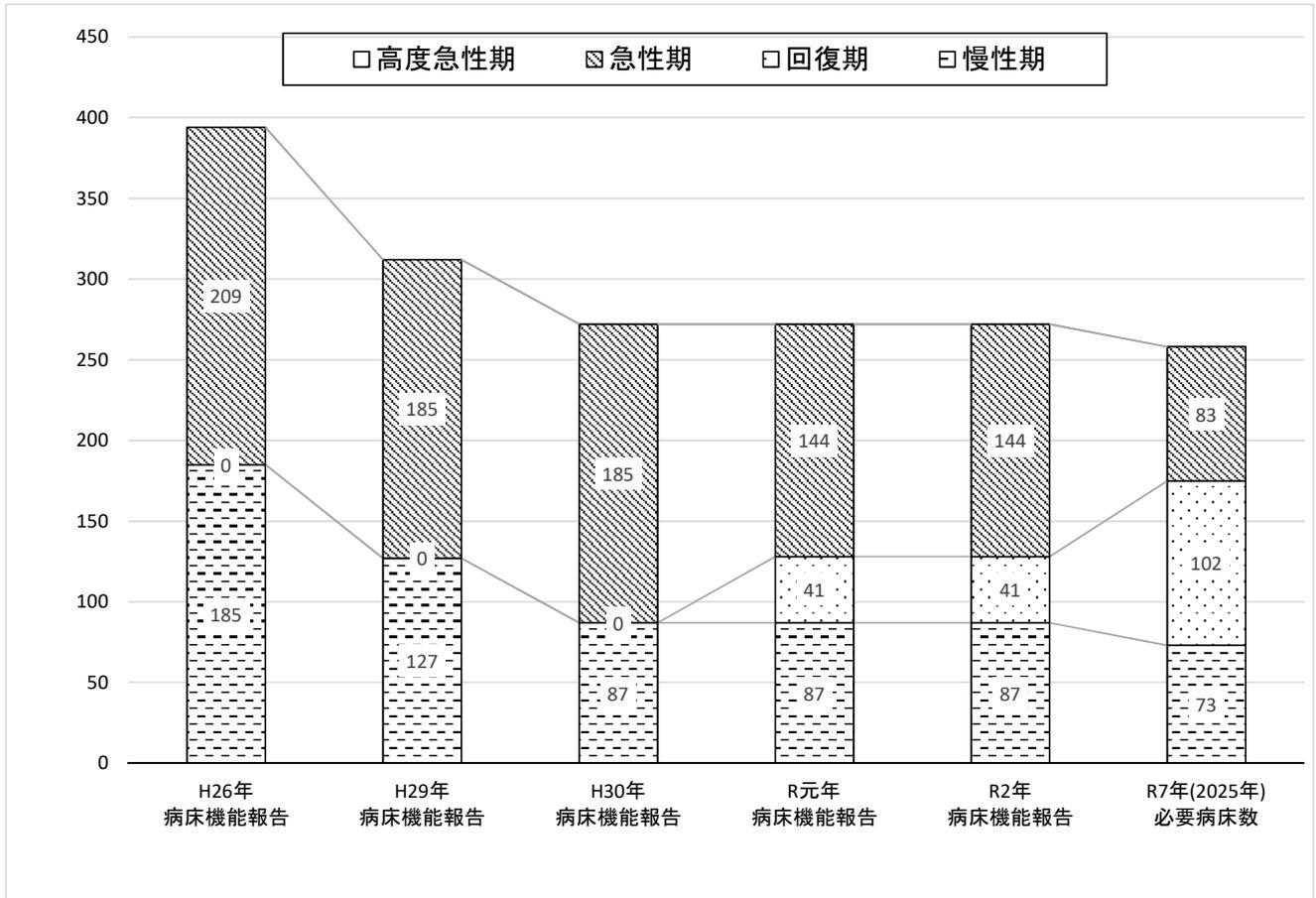
※3 各区域における10未満の数値を0として計算している。

## 2 構想区域別 (1) 東部構想区域



医療機能	H26年 病床機能報告	H29年 病床機能報告	H30年 病床機能報告	R元年 病床機能報告	R2年 病床機能報告	R7年(2025年) 必要病床数
高度急性期	1,084	585	641	719	857	607
急性期	3,239	3,474	3,230	3,089	2,998	1,853
回復期	560	604	762	842	849	1,698
慢性期	1,485	1,331	1,363	1,390	1,240	1,093
合計	6,368	5,994	5,996	6,040	5,944	5,251

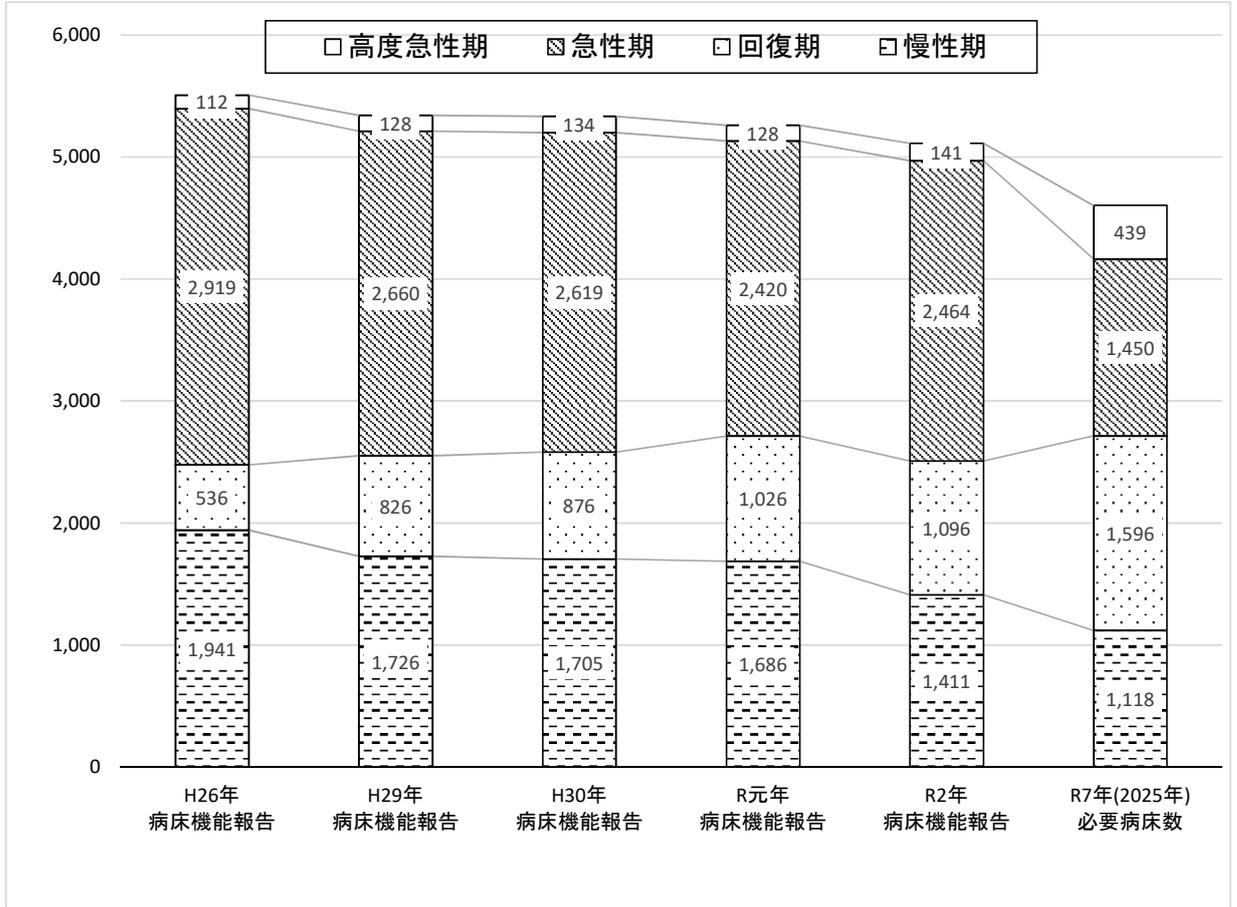
## (2) 小豆構想区域



医療機能	H26年 病床機能報告	H29年 病床機能報告	H30年 病床機能報告	R元年 病床機能報告	R2年 病床機能報告	R7年(2025年) 必要病床数
高度急性期	0	0	0	0	0	10未満
急性期	209	185	185	144	144	83
回復期	0	0	0	41	41	102
慢性期	185	127	87	87	87	73
合計	394	312	272	272	272	258

※1 合計においては、高度急性期の10未満の数値を0として計算している。

### (3) 西部構想区域



医療機能	H26年 病床機能報告	H29年 病床機能報告	H30年 病床機能報告	R元年 病床機能報告	R2年 病床機能報告	R7年(2025年) 必要病床数
高度急性期	112	128	134	128	141	439
急性期	2,919	2,660	2,619	2,420	2,464	1,450
回復期	536	826	876	1,026	1,096	1,596
慢性期	1,941	1,726	1,705	1,686	1,411	1,118
合計	5,508	5,340	5,334	5,260	5,112	4,603